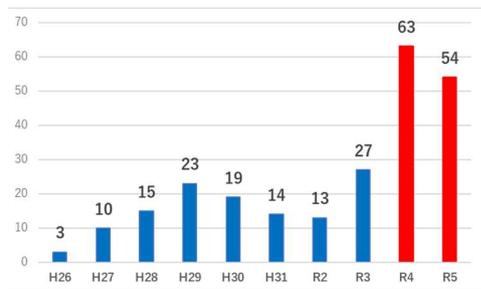


県内でも梅毒感染者が増加しています! 予防の徹底を!

現在、国内での梅毒感染者が増加しており、県内でも令和4年は年間63人と急増し、過去10年で最多となりました。また、令和5年は、54人でしたが、依然として感染者が多い状況です。(右図参照)



▲県内の梅毒感染者数の推移(人)
(福井県感染症情報より抜粋)

【原因】梅毒トレポネーマ(細菌)

【感染経路】性的接触

※妊婦が感染すると胎児に感染し、死産や早産などのリスクがあります。

【症状】経過した期間により症状が異なります。

◇Ⅰ期顕症梅毒(感染後数週間)

感染した部位(性器、肛門、口など)に、しこり、潰瘍ができ、股の付け根のリンパ節が腫れることがある。

◇Ⅱ期顕症梅毒(感染後数か月)

手のひらや足の裏など全身に発疹ができる

◇晩期顕症梅毒(感染後数年)

心臓、血管、神経の異常が現れることがある

【予防】◇性交渉の際には、コンドームを適切に使用する

◇不特定多数との性交渉を避ける

若狭健康福祉センターでは、6月を目途に無料・匿名で受けられる検査を準備中です。
詳細は追ってお知らせします。

I期、Ⅱ期顕症梅毒は治療しなくても症状が一時的に消えることはありますが、治療しないと病気が進行します。検査を受けて早期に発見し、早期の治療により重症化を防ぐことができます!

ダニが媒介する感染症に注意しましょう!

夜間エイズ相談・検査を実施します

R5年度には嶺南地域でも報告されています!

ダニ媒介感染症・・・四類感染症である日本紅斑熱や重症熱性血小板減少症候群(SFTS)等

【感染経路】

- ①病原体を保有するダニに刺される
- ②上記感染症に感染した動物(犬、ネコ等)からの咬傷あるいは濃厚接触(尿や唾液に接触)

【対策】

春～秋は、媒介ダニの活動が活発化します。ダニの刺咬を防ぐために、野外活動時は下記に注意しましょう。

- (1) 長袖、長ズボンを着用し、肌を露出するようなものは履かない
- (2) 作業時にはダニ忌避剤を使用する
- (3) 作業後早めに入浴し、ダニの付着を確認する

詳細は...

マダニ対策、今できること
(国立感染症研究所)



6月1日(土)～6月7日(金)は、HIV検査普及週間です。下記の日程に夜間エイズ相談・検査を実施します。

日時:令和6年6月6日(木)18時～20時

場所:若狭健康福祉センター 2階

内容:相談、血液検査(匿名、無料)

※感染のおそれのある日から3か月以上経過してから受検して下さい。

※B型・C型肝炎検査も受検可能です。

下記申し込みフォームもしくは電話にてお申込み下さい。

